

皮膚科のご紹介

皮膚科の診療内容と取り組み



皮膚科部長 池田 勇

皮膚科は湿疹、かぶれ、みずむしなどの他、尋常性乾癬などの難治性皮膚疾患、中毒疹（薬疹）、皮膚腫瘍、皮膚症状を伴う膠原病の診断、治療を行います。

● 一般的な皮膚疾患

湿疹、かぶれといった一般的な皮膚疾患に対しても、出来る限り、詳しくお話を伺い、原因や悪化の要素となるものを洗い出してゆくように努めており、特に身の回りの化学物質や金属が原因となっていると思われる皮膚炎には、パッチテストをおすすめしています。当院では、防腐剤や香料など標準的なアレルゲン（アレルギーの原因物質）のセット「パッチテストパネル-S」と、歯科金属アレルゲンを常備しております。歯科金属のテストが可能なのは、大牟田市周辺では当院だけです。パッチテストは、アレルゲンを貼って2日後、3日後、1週間後に判定をしますので、月曜・火曜のみ施行しています。

● シミ、ほくろ、あざなど

シミ、ほくろ、あざなど、肉眼での診断が難しいケースでは、ダーモスコピーを行っております。これは、専用の器具で患部を拡大し、表面の反射を除いて観察するもので、色素や血管の特徴から、悪性腫瘍など様々な病気を診断します。

● 尋常性乾癬やアトピー性皮膚炎など

尋常性乾癬やアトピー性皮膚炎で一般的な治療があまり効かないケースでは、新しい紫外線療法であるナローバンド UVB による治療を行っています。痒みや炎症を抑える効果が強く、ステロイド軟膏の使用を抑えられるメリットがあります。ナローバンド UVB 療法を行っているのは、大牟田市周辺では当院だけです。

● 治りにくい外傷や、褥瘡など

治りにくい外傷や、褥瘡（床ずれ）に対しては、創傷管理を専門とする認定看護師と共同で対応しています。看護師ならではの視点から、傷が治るための環境を作っていくお手伝いをします。

● 膠原病について

膠原病の診断・治療を積極的に行っている熊本大学皮膚科と協力して、皮膚症状を伴う様々な膠原病の診療を行っています。



ナローバンド UVB

皮膚科の診療内容と取り組み

当科は、一般的な治療で経過が思わしくない方に、改善の手がかりをご提供することを目標として診療しております。手術を必要とするケースや重症の場合は、熊本大学や久留米大学へのご紹介も行っておりますので、お困りの症状がありましたらご相談下さい。